

九月行事予定

開山会大法要

9月20日(月・祝) 午前11時 講金:3,000円也

当山の開山日を祝う法要を行います。なお本年度も昨年同様、お抹茶の接待はございません。
※法要は僧侶のみで行います。ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤め、またはライブ配信をご利用ください(詳しくは2面をご覧ください)

朝まいり会

9月1日～7日 午前8時から8時半 会費:500円也

※事前予約制 詳しくは2面をご覧ください

写経の会

9月11日(土)、12日(日) 午前10時のみ 会費:500円也

※事前予約制 詳しくは2面をご覧ください

合同大般若法要

9月25日(土) 午前11時 法要料:5,000円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆様とご一緒にお上げする御礼の法要です。
※法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください(詳しくは2面をご覧ください)

十月の行事 御縁日大法要

歓喜講祈禱会

10月17日(日) 午前11時 講金:3,000円也

歓喜講恒例の広間での催し物は中止となります。
※法要は僧侶のみで行います。ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤め、またはライブ配信をご利用ください(詳しくは2面をご覧ください)

いちよう

「平等普潤」

住職 平田真純

一天泰平 (いってんたいへい)

四海静謐 (しかいせいひつ)

信心願主 (しんじんがんしゅ)

所願満足 (しょがんまんぞく)

乃至法界 (ないしほうかい)

平等普潤 (びょうどうふにん)

すなわちこの偈文(げもん)を訳せば、
(大般若経転読法要を本尊に捧げ、その功德で)

全世界は泰平で 穏やかに
信心深き願主の 願うところは満足し
さらにすべての世界において
平等に普(あまね)く潤(うるお)されるように

当山にて随時行われる大般若転読法要(だいはんにやてんどくほうよう)で導師がお称えする文句の一部です。

「一天」「四海」は、古代インドの宇宙観・世界観の比喩的表現で、「一天」とは宇宙の中心に聳(そび)える須弥山(しゅみせん)という大きな山の上の天界のこと、「四海」とはその須弥山を取り巻く四方の海のこと、この二語で全世界という意味を表しています。

「法界」には、いくつかの意味がありますが、ここでは、存在するすべての世界ということであると思います。

「平等普潤」とは、願主の所願成就にとどまらず、その利益(りやく)が広く回向し、広く恩恵をもたらすように、という意味になります。

この最後の一語、「平等普潤」が、この偈文の最も大切なところでは。

私たち人間の考え方は、とすると自分本位になりがちです。私たちは多くの縁によって、あるいは多くの方々によって生かされているにもかかわらず、それを忘れて、つい利己的な行動、言動に走ってしまうことも多いのではないのでしょうか。

そこで戒めの意味も込めて、多くの法要では、自身以外の他の利益も祈願する言葉を称えます。自分本位で祈願すると何かソワソワするけれども、世のため人のためをも思って祈願すると、何となく心も落ち着く…案外そんなものではないのでしょうか。そこから良い因縁、良い結果が生まれてくるのだと思います。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。



No,345

令和3年8月20日発行

発行所: 待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

仏具解説

おこう

お香

寺院ではお香を多く用います。仏教だけではなく、神道やキリスト教正教会、儒教や道教でも用います。一般的に多く利用される「お香」の原材料は、「木」や「木の皮」になりますが、他にも「乳香（ニューコウジュ（カンラン科）」、または「安息香（アンソクコウノキ（エゴノキ科）」といった、幹を傷付け浸出した樹脂のお香もあります。「乳香」は医薬品として利用されており、世界最古の香料とも言われております。

そもそも、天然のお香は数十種類あり、入手が困難なものも少なくありません。お香の原料が多く産出されるのは、中国やインドが主になりますが、香辛料や漢方薬、種類によっては彫刻などの工芸品として用いられる事も多いそうです。近年では品質の良いものが段々と少なくなってきております。

それでは、日本の「お香」はどうでしょうか。

日本で「香」が用いられるようになったのは、仏教伝来の頃、538年（諸説あり）と言われており、595年には、「日本書紀」にお香の記述があります。

「お香」は、灯明（とうみょう）や献花（けんか）と並び、仏様を供養するための代表とされております。

本龍院においては外陣に「塗（ず）香（こう）」が用意されております（現在、コロナ禍のため、一時的に中止しております）この塗香は身体（からだ）を清め、精神を安らかにするという意味があり、それにより無量の功德を得ると云われております。

また法要中など、お香を焚（た）く事により本堂全体を清め清浄（しょうじょう）の空間にし、皆様が心穏やかにお参りできます様、常に願いを込めております。

----- 諸行事参加について -----

コロナ禍が続いておりますが、現在の諸行事の参加ならびに申込方法をお知らせいたします。

◆朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会は予約制となっております。朝まいり会は毎月1日から7日の中から一人一日のみ参加できます。定員は10名です。

写経の会は第2日曜日とその前日の土曜日の計2日、それぞれ定員28名で午前10時のみの開催となります。

いずれも毎月15日より、翌月分のご予約を専用電話番号にて、ご本人様のみ受付いたします。

朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利用ください。

予約電話番号080-7419-1297

<http://www.matsuchiyama.jp/2asamairi6.html>



◆日曜勤行、坐禅の会

当面の間、中止とさせていただきます。

※今後の情勢に応じて、変更する場合がございます。

◆諸講、合同大般若法要

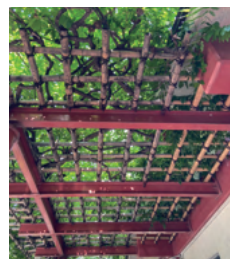
当面の間、当山僧侶のみで執り行います。ライブ配信がございますので、ご利用ください。お申込み頂いたお礼、お供え物等は法要終了後より受け取り可能です。

<http://www.matsuchiyama.jp/houyoulive.html.html>



大根冷蔵庫を設置しました

夏場のお供え用大根劣化を防ぐべく、額堂脇に大根用冷蔵庫を設置いたしました。それにともない、藤棚も新たにかけ替えました。



【行事紹介】九月御縁日大法要

開山会大法要

9月20日（月・祝） 午前11時 講金：3,000円也



9月20日開山会大法要を執行いたします。

推古天皇三年（595年）金龍が天より舞い降り当山が開かれました。当日は住職が点（た）てたお抹茶を尊天様にお供えし、御百味法要を執行いたします。法要におきましては、開山を祝し、お祝いの声明（しょうみょう）である諸天讃（しょてんざん）を唱えます。皆様にはライブ配信にて耳でも楽しんでいただき、ご一緒に開山をお祝いください。

講中お申込みの方には、開山会札ならびに令和3年開山会記念グラスを授与いたします。

なお本年も昨年同様、境内においての抹茶接待は中止とさせていただきます。

※法要当日、一般参拝は出来ません。ライブ中継を行いますので、ご自宅でご一緒にお勤めください。（詳細は2面参照）

待乳山便り

出世観音供養会 報告

前日に梅雨明けが発表されるやいなや、汗ばむほどの快晴となった、7月17日、参道の出世観音様を供養する法要が執行されました。

常香講 報告

梅雨も明け連日の猛暑が続く中、7月20日常香講法要を執行いたしました。

内陣において常香盤でお香が焚かれ、清浄な香りの中、大般若転読をし、皆様の身体健全・家内安全を祈願いたしました。

※出世観音供養会は信徒総代のみ、常香講は総代、世話人で列席で執行いたしました。ご信徒の皆様にも早くご参加いただけるよう、収束を祈っております。



株式会社新進 法要報告

福神漬けの名称の由来である七福神にちなみ、7月29日（しちふく）は「福神漬けの日」とされております。その「福神漬けの日」に福神漬けで有名な（株）新進様の法要を執り行いました。

朝まいり会法要中止のお知らせ

9月7日に予定しておりました恒例の朝まいり会正・五・九（大般若）法要は新型コロナウィルスの影響により昨年同様中止とさせていただきます。

朝まいり会員の皆様におかれましてはご理解の程よろしくお願い申し上げます。



7月中旬、庭園内における池清掃をおこないました。中々見ることの出来ない清掃後の色鮮やかな池をご覧ください。

